広報 松之山

題字は佐藤町長
第 40 号
発行所　松之山町役場
印　刷
上越・あかつき印刷所

写真は……9月6日の臨時議会

期待をになって
新町長新議員初の議会に

過疎、米の作付制限など一連のきびしい問題をかかえ、町民環視の中で戦われた、第七回の町長・町議選挙は終り、九月六日、初の臨時議会が町役場で開催されました。

席上、佐藤重孝新町長から五期連続して町政を担当する新しい決意について挨拶がありました。引きつづいて議長・副議長の選任、常任委員会の構成が（別項）おこなわれ午前十一時すぎ閉会しました。

こんど改選された党派別議席は無所属二十名、共産党二名となっており、年令別には三十代一、四十代四、五十代十二、六十代四、七十代一名となりました。議員の平均年令は五十四才で前回（昭和四十二年）に比べ二、三才の増令となっています。また、新旧別では現十、新十、元二、となっています。

議長に若月氏
副議長佐藤氏

改選後はじめての町議会は九月六日午前九時から町役場で開催されました。

佐藤新町長から就任のあいさつがあったのち、最年長議員、若月又義氏を仮議長に選び、議長、副議長の選挙をはじめ、常任委員会の構成などをそれぞれ別項のようにきめました。

議長選挙は、投票の結果若月又義一九票、山岸石松二票、相沢長男一票で、新議長に若月又義氏が選ばれました。

引き続きおこなわれた副議長選挙では佐藤大治十五票、相沢長男二票、山岸石松一票、田辺一夫二票、福原庚造一票、で副議長に佐藤大治氏が選ばれました。

また議会選出農業委員には南雲終治氏を監査委員に山岸定佐久氏を選任しました。

議会常任委員会の構成はつぎのとおりです。（◎印委員長、○印副委員長）

総務文教委員会◎田辺一夫・○山岸石松・松沢保雄・村山正英・高橋重次・

土木委員会◎福原庚造・○村山吉太郎・滝沢重介・相沢善一・本山健市

産業委員会◎相沢長男・○南雲終治・村山佐市・小野塚熊男・竹内平八郎

社会厚生委員会◎久保田勢策・○山岸定佐久・布施修平・竹内徳治郎・佐藤重竜。

離農給付金の申請は早く

離農給付金制度は昨年十月、農業者年金法の補完的措置として発足したものです。

現在までにこの給付金を受けた者は八名で、内訳は三十五万円　受給者三名、十五万円　受給者五名となっており、なお現在申請中のもの十九件となっています。

昭和四十七年以降、離農を計画している人、即ち、自分名義の農地のすべて（三十アール以上）を処分する見込のある人で、この給付金を受けようとする人は早めに農業委員会へご相談下さい。

ご挨拶

町長　佐藤重孝

八月三十一日の町長選挙に際し有権者多数のご支持をいただきそのお蔭をもちまして引続き町政を担当させて頂くこととなりました。

これまでの温かいご支援ご協力に対しまして心から謹んで御礼申上げます。

さてこの度は当選の栄に浴させて頂きましたが、その喜びよりも先ずその責務の重かつ大なることを痛感させられました。

町として山積する重要課題はどれ一つ取上げて考えてみましても容易でないものばかりです。

今回の選挙戦を通じて得ました有権者各位の良識を心とし過去の町政に対する反省と体験を生かしたなかで全く初心にかえり全力投球の姿勢でことに当り、今後の問題解決に身をささげて取り組んでおる所存でございます。

どうか、町民各位の格別なるお力添えを賜りたく心からお願い申上げる次第であります。

いよいよ秋の農繁期、よりよい収穫と皆々様の益々のご健勝を心から御祈念申上げまして私のご挨拶にさせていただきます。

職業訓練校 申込24名

上越職業訓練校松之山分校のことしの入校生募集は十四日締切られたが応募者は昨年より四名下廻り二十四名でした。ことしの開校は、十月十五日の予定となっています。

新町議と重点施策

つぎに新議員をご紹介します。

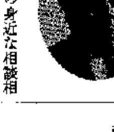
重点施策は、新議員の各位からお寄せいただいたものをそのまま掲載いたしましたが、紙面の都合上、字数に制限をして発表いただいたことをご了承ねがいます。

掲載順序は議席順です。

佐藤大治(49)

急速な社会経済的変化に対応し住民生活の安定と向上をめざし、過疎の解消を図るべく設定された総合計画の主旨に従って、①諸産業や生活の基礎となる道路交通網の整備、雪中交通の確保の為大巾な公共投資を望むべく真剣に運動を展開したい。②また安心して生活出来る環境整備の為に医療機関の充実、幼児から老人に至る社会保障と施設の整備促進。種々の困難が予想されるが一生懸命努力をしたい。

村山佐市(59)



町民各位の身近な相談相手となり老人、母子家庭、出稼留守家庭、雪中道つけ問題、地すべり対策等ひざをまじえて話し合い農業生産の向上と、安心して暮せる明るく豊かな生活の実現に努力する。国、県に働きかけ主要道の国道昇格、県道町道の大改良と、整備、雪崩れ防止対策に力を入れ、冬期主要道路の無雪化による安全な自動車運行の実現に努力し、冬期観光客誘致に勧め、浦田を含めた。観光開発に力をそそぎたい。

南雲終治(53)

一、松之山の政治は、雪に「いどむ」其の一言につきるかと思います。生活、労働の不均衡、過疎につながる町民の心理的へい害、すべて雪によるものです。現在、町で考えている機動力を速に整備していただき町中央との冬期間の交通を確保し松之山に生きる米作りの町民の幸福と経済を守る様努めます。

二、泉源にめぐまれた観光条件を生かした地域開発をすすめる。また農民温泉、老人「いこい」の場等の実現に努めます。

三、出稼失業保険を保護し留守家族の保護と可能であれば内職的工場誘置で冬期間の収入の安定を計る様努力致します。

四、老人医療の無料化と医師の増員医療機関の充実につとめます。

五、後継者育成、就中青少年保護健全スポーツ施設と教育施設の充実に専念致します。

福原庚造(50)

一、道路の整備舗装、無雪道路、雪中の道つけ、簡易水道の普及等生活環境の飛躍的改善につとめる。

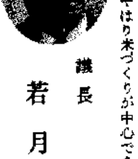
一、乳幼児、母子家庭ねたきり老人、出稼留守家庭対策等社会福祉について力を入れます。

一、農業の振興をはかるとともに積極的な観光行政に依り所得の向上に努めます。

一、保育所から高校まで施設を充実し恵まれた環境で子供達の天性を充分伸ばすように努力します。

一、医療施設の充実、医療問題について特に力を入れます。

議長　若月又義



昭和二十二年に、戦後初代の議長をおおせつかって以来、議員としては五回目議長としては第四回目のつとめをいたすことになりました。顧りみて、戦前戦後の長い議員生活をはじめ、公職生活を通じ、私は、公平、無私、選ばれた道に邁進することこそ私の使命だと決意を新たにしています。

一、交通網の整備、とくに冬季交通の確保、二、教育施設の公平な配置により住民に教育の機会均等を保障する。三、松之山の産業はやはり米づくりが中心である。きびしい現実ではあるが、長い目で将来への展望をもって米の生産に力をそそいでゆきたい。

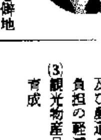
以上を私の議員としての重点事項と考えています。

七十年代は、松之山町にとっても、いろいろな面で激しい変革が予想されます。

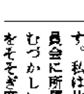
賢明な議員の皆様とよく相談しあい、豪雪の克服、過疎地の汚名を打ち破るよう努力したい所存であります。

町民各位の心からなるご鞭撻を切にお願いしてご挨拶といたします。

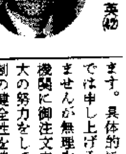
松沢保雄(43)



過疎と豪雪になやむ僻地松之山を住みよい魅力ある町にする為公平無私を信条としてつぎの事項の実現に努力したいと思います。総合計画に基づき道路の改良整備。補装による無雪化の早期実現。健康を守る医療施設の充実。観光松之山をつくる観光開発。教育行政と社会福祉対策。等拡範囲にわたる諸問題の解決に微力ではありますが皆様方各位の声の窓口となり最善の努力をつくす覚悟でおります。



村山正英(42)



一、交通について

(1)隧道トンネルの早期実現による冬期交通の確保

(2)圧雪、除雪のできるような町道の改良と舗装の促進

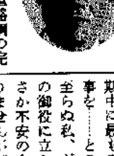
二、産業について

(1)畜産及び耕種農業そして林業についても地についた指導

(2)小規模でもできる農地及び農道の基盤整備と負担の軽減

(3)観光物産品の開発及び育成

久保田勢策(54)



町政の発展は道路網の完全整備であると思います。それが松之山の産業観光のとびらを開くかぎであると信じます。故に町の土木行政はあらゆる至難を乗り越えての努力を必要と感じます。私は此の度社会厚生委員会に所属しました。最もむづかしい医療行政に全力をそそぎ度いと思っております。具体的には今の段階では申し上げる自信はありませんが無理を承知で執行機関に御注文申し上げて最大の努力をして戴き医療体制の健全性を造り上げ町民皆様の生命に不安なからしむる様努力し度いと考えております。

御老人のいこいの場幼児教育の充実と町内全域に亘る水道施設等皆様方の生活環境が少しでもよくなる様一生懸命勉強し度いと思っております。

小野塚熊男(60)

皆様方の御引立によりチョッピリ町政に参加させて頂く事になりました私。任期中に最もやり度いと思う事を……との事。至らぬ私、どれだけ皆さんの御役に立ち得るかといささか不安の念もないではありませんが。諸問題の山積して居る中から、引き出したいのが次の二点

冬期間の交通網の確保

安定度の高い松之山の特殊性を生かした産業の開発、そしてワンサと健康美に輝くお嫁さんのおしかけて来る松之山にしたい。

（次頁につづく）

（次頁よりつづき）旅へ旅へと他人の幸だけをうらやんではいけません。花開き鳥唄うそしてきれいな水、澄きった空気、青い空、公害の無い吾等の故郷の良さを皆様と共にもう一度見直して見たい。

竹内平八郎(57)

一、道路の整備
二、過疎につながる松之山農家の縦対策
三、観光開発の推進と、これに結合した松之山農業の方向を確立すること。

相沢善一(51)

町民の皆様、比度の選挙にさいしましては特別の御好意を賜わり誠に有難う御座居ました。厚く御礼申上ます。今後四年間議員としての決意を申上げ、これが実現のため皆様の協力をお願申上げます。
一、町内幹線道の無雪化
一、幹線につながる支線又は通学道の圧雪
一、県道舗装ならびに町道の改修
一、魚沼経済圏につながる無雪道の促進と共に冬季間内職等で所得水準の向上をはかる。
これらの事が町内に公平に行なわれるよう努力いたします。

滝沢重介(38)

一、民主的な明るい町づくりを。トコロ天式で政府の言いなりになる町政でなく自治体の自主性を尊重し町民のなやみや要求をよく聞く清潔で親切な町政にしたい。
二、地元で働ける仕事と食える賃金を。公害のない工場誘致。廃疎間にトンネルの新設と舗装、改良の促進。ボイ山や原野を県行造林などに改良し、多種類の内職あっせんと開発就労事業等役場が本気で心配する様にします。
三、各種税外負担の解消
地方財政法では直接間接の税外負担を認めていません。県立高校費や義務教育の父母負担をなくし給食婦の賃金を町負担にし身分の保証をします。
四、老人、幼児の医療費の無料化につとめます。

田辺一夫(53)

此の度の議会議員の選挙に当り町民各位の御厚情頂き当選の栄を賜わり厚く御礼申上げます。今後も皆様と共に松之山町のために一層勉強して行きたいと決意を新にしておる次第です。私の特に考えておる事は、
一、住みよい松之山町にするために行政の均衡をはかりたい。
一、道路網の整備と冬期交通の確保
一、地域産業の振興開発
尚、私は総務文教委員会に関係しておりますので、学校の統合問題、小学校の改築など重要な課題に対して地域の一住民となった立場で取り組んで行きたいと思っております。何卒ご支援下さいますようお願いします。

山岸石松(48)

根本的な問題としては、町民の皆さんと共に語り共に力を併せてゆく町政と町議会、即ち民主主義を本物にしていく町政をめざして努力します。その柱はくらしと健康いのちを守るということです。
一、町が大巾にめんどうをみる小規模な農業基盤整備の実施、賃金収入を保証する林業の推進
二、温泉を土台とした健全な観光地づくりをすすめ・山村の特産物と結合させる。
三、道路中心の交通、特に冬期交通の確保。雪による住民負担の軽減。
四、医療特に老人医療の無料化、農村労働者（出稼者、賃労働者）の仕事と賃金の保償と健康管理の徹底をはかる。
五、青年、婦人のための気楽な集会、スポーツ施設を確保する。

本山健市(58)

辺地に生れ辺地で育ち辺地の苦しみから一日も早く脱却すべく、此の度地域各位の御推薦戴き、松之山町議会議員に立候補させて戴きました。御承知の通り私共を取りまく農村の諸状勢は、年ごとにきびしさを加えて参りました。とりわけ深刻な問題として身近な分校の統合問題があり、加えて各種車輌の激増に伴う各地区の道路事情の悪化、過疎化の進行冬期間の交通問題、保安設備等、問題が山積しております。高度成長社会から取り残されぬ様、皆様方の御期待にそうべく微力を尽す決意でございます。何卒よろしく御支援を賜り度くお願い申上げます。

町長・町議選挙結果

八月三十一日、に執行された町長、ならびに町議会議員選挙結果をお知らせします。当日の有権者数は四千五百九十四人で、投票率は九五%でした。

町長選挙（票）

当	佐藤重幸	無現	二四三三
次	田辺尚一	無新	一一二五
	相沢達雄	無新	一〇〇五

議会議員選挙（票）

当	村山佐市	無新	二四一・四
〃	福原庚海	無現	一九八
〃	若月又蔵	無現	一九六
〃	佐藤大治	無現	一九四・六
〃	田辺一夫	無現	一九三
〃	小野塚熊男	無新	一九一
〃	高橋重次	無新	一八六
〃	村山吉太郎	無現	一八四・三
当	山岸定佐久	無元	一八二
〃	竹内平八郎	無新	一七八・五
〃	山岸石松	共元	一七六
〃	松沢保雄	無現	一七四
〃	竹内徳治郎	無新	一七三・四
〃	滝沢重介	共現	一七二
〃	布施庸平	無新	一六八・八
〃	本山健市	無新	一六八
〃	相沢善一	無新	一六三・五
〃	南雲終治	無現	一五九
〃	佐藤重竈	無新	一五八・三
〃	久保田勢策	無現	一五五
〃	相沢長男	無現	一五四
〃	村山正英	無新	一四七・二
〃	鈴木武信	無新	一四七
〃	山岸繁勝	無元	一四三
次	樋口藤夫	社現	一三四・二
〃	小野塚嘉男	無新	一〇八
〃	樋口豊栄	無元	七八・七
〃	与旭外二	無新	三四・一

村山吉太郎(67)

任期中つぎのことについて努力してゆきたいと考えています。
一、学校統合問題
一、幼児教育
一、過疎問題
一、冬期雪害対策
一、過疎地域の道路整備
一、里山再開発問題
一、十日町出織の振興
一、医療問題
一、老人対策

相沢長男(61)

経済情勢の推移で私共の生活は激しい変化にさらされています。この変化で生活に直接ひびく様々な深刻な問題が出て参ります。常に皆さんの意志や意見を伺って町政に反映させることを姿勢として参りたい。教育、医療、土木、産業等いずれも早急に解決せねばならない問題を抱えて居りますが、道路の改良、舗装の延長殊に除雪圧雪、雪崩防止等の冬期交通確保は先ず以て積極的に推進せねばならない基礎的なものであります。議会のポジションは産業ですが農林業、観光のことは皆さんの卓越せる御意見を期待申上げ、協力の下に真剣に取り組みたい所存です。駑馬に鞭打って下さる様御支援を切に御願い致します。

布施庸平(51)

第一点として町の発展を守る為に町過疎地域振興計画に基く過疎対策に力を入れたいと考えます。此れには広範囲な施策が望まれる訳ですが一端として道路の整備拡充、特に冬期間の主要道の無雪化部落間道路の圧雪等の早期実現
第二点として住民の福祉向上に尽したいと思います。健康を守る医療の充実並に年々急増する老人福祉対策に重点を置く所存で御座います。

竹内徳治郎(60)

この度、町会議員の改選に当りましては、皆様方の絶大なる御支援をいただきました事を厚く御礼申上げます。
現在、減反、離農、豪雪と数多くの最も身近な難かしい問題が山積致して居ります中に町議員の一員として其の責任の重大なる事を身に感じて居る次第で御座います。
特に離農問題を中心にして産業の近代化と道路の改良冬期間の無雪道路の確保に全力をつくして行く覚悟で居ります。
何卒町民の皆様今後共に、一層の御鞭撻と御指導の程をいただきたく御願いを申上げます。

山岸定佐久(55)

急激なる過疎問題に直面している町の現状からいって、民生安定と文化の向上観光松之山と産業振興など早急に解決の道を確立して魅力ある豊かな町づくりに尽したいと念願しています。このため次の諸点に重点をおきたいと思います。
一、道路交通の改善整備
二、過疎対策と豪雪対策
三、社会福祉対策
四、医療行政対策
五、教育対策
六、産業の振興（特に減反地を観光に）
七、観光松之山の実現

高橋重次(51)

私は道路整備と併せて雪中の交通確保の問題が地域格差の是正、医療問題、学校統合、観光開発等山積して居る諸問題の解決の根本と信じ微力ではありますがこれが早期解決のため努力致す覚悟で御座います。

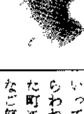
佐藤重竈(54)

今回皆様方の御支援により、町議会議員として当選させて頂きました。私の町政に対する目標は「住みよい町」をつくることにあります。
重点目標としては、
一、交通網の整備（冬期間の交通の確保）
一、産業の振興（米を中心とした農業の振興、観光開発）
一、医療の充実（医師の確保）
一、社会福祉の増進（老人福祉施設、幼児教育施設建設の促進）
以上のことについて任期中最も力を入れてゆきたいと念願しております。

新町政と議会に期待する

小谷　若井千代松

深刻な過疎問題に歯止めをかけ、松之山の振興と発展の第一条件となるのは、道路問題の解決である。これまでのような総花的な考え方を一時中断し、隣接の松代町と津南町を結ぶ路線を一刻も早く、完全な二車線の無雪道路にすべきである。
このことは上越市、十日町市への通勤も可能とし、工場誘置にも、観光開発にもまた、医療問題にも欠くことのできない緊急事業であることを銘記してほしい。
つぎは、将来かならず「真清水米」として珍重されるであろう松之山産の米が、これ以上減産しないよう農地の基盤整備を徹底的に考えてほしいことと、また全町民的視野と立場から松之山の総合観光開発を〝すぐやる気〟で真剣に検討し、実行に移されたいことである。
当面の一喜一憂にのみ気をつかって大局を誤り、恵まれたわが郷土を荒廃させ悔いを千歳に残すことのないよう、選挙という、きびしい試練をへて選出された町長ならびに町議諸氏の英知と今後の行動に期待をかけたい。



猪之名　滝沢久子（談）

婦人層の要望は毎年おこなわれている百万人の話し合いの中に集約されていると思いますが、
①とくにお医者さんの増員については引きつづき努力してほしい。
②過疎の進行と共に、沢山の悩みをかかえこんでいる小さな集落、中心から遠い集落に対して陽の当らないことがないように配慮してほしい。ことに冬の道づけは大きな負担となっているので、この対策も考えてもらいたい。
③町会議員の候補者を部落すいせんするというしきたりは考え直す必要があるのではないか。
④もっと住みよい松之山町をつくるというには何んといっても道路をよくしてもらわねば困る。とり残された町にならないよう積極的なご努力を切にお願いしたい。

敬老の日
九十才以上は十二名

九月十五日は敬老の日、町内七十五才以上の老人三百二名に敬老典、九十才以上十二名に座布団が知事から届けられたほか、各婦人会支部から記念品が贈られるなど長寿をお祝いしました。
現在松之山町に居住する七十才以上の人口は五百四十九人で（全人口の七・三%）このうち八十才以上百二十八人、九十才以上十二人となっており、最高令者は天水島の高橋角蔵さんの九十八才となっています。
九十才以上の方々の氏名はつぎのとおりです。
高橋角蔵(98)天水島、村山タツ(91)藤内名、福原サイ(97)天水越、佐藤長太郎(90)天水越 佐藤松五郎(92)天水越、樋口彦太郎(91)中尾、藍野カク(94)下池、村山吉ノ(91)坪野、石塚コン(95)浦田、保坂スギ(92)浦田、志賀ロク(90)松口

薪を切る高橋角蔵さん

人権擁護委員に
新山の山岸定佐久さん

ことしの五月一日、新山の山岸定佐久さんが法務大臣より人権擁護委員の委嘱を受けられました。
人権擁護委員は、国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために置かれています。次の問題でお困りの方は、無料かつ他にもれることは絶対にありませんから安心してお気軽にその自宅へ相談にお出掛け下さい。
私的制裁、人身売買、村八分、教育を受ける権利の侵犯、強制圧迫、酷使虐待、差別待遇、生活権の侵犯、その他お困りの問題

広報第41号は十月十日発行の予定。皆さまからの寄稿を歓迎しています。